

# Let's 居住地校交流

## その8



「居住地校交流」とは、本校の児童生徒(希望者)が、自分が住んでいる地域の小・中学校に出向き、同年代の友達と一緒に学習する交流及び共同学習です。

地域での人間関係を広げ、豊かに暮らしていくことをねらいとしています。



令和6年1月  
追分小学校にて

6年生のHさんが小学部最後の居住地校交流に行ってきました。いろいろなゲームコーナーを友達と一緒に回り、笑顔いっぱい楽しみました。追小の友達と1年生の頃から交流してきたHさん。自分から友達に寄り添ったり、友達の話を聞きながら聞いたりするなど、これまでの積み重ねが感じられる素敵な交流となりました。



もぐらたたき、アスレチック、ボウリングなど、追分小学校の友達がいろいろなゲームコーナーを準備してくれました!

(追分小学校の先生より)

毎年の交流を楽しみにしていたので、当日も喜んでいただけました。Hさんとのように関わればよいのか、考えて行動する姿もうれしかったです。

(保護者の方より)

居住地校交流会に参加させていただいて、娘がこんなに楽しそうに笑顔になれるんだと思ったのが初めての居住地校交流会でした。それから毎年、娘の笑顔と追分小学校の児童さんの笑顔に会いたくて参加させていただきました。そこには、追分小学校の児童さんや、先生方の綿密な打合せの賜物だと、いつも感謝と感動がありました。幸せな時間をありがとうございました。

